



2022年 7月30日
第23号

JR 東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 助川一実

編集情宣担当

ホームページ

<http://www.jreu-yokohama1.jp/>



イーハトーブ

7月30日号

投票に行きましたか？

7月10日投開票の第26回参院選の投票率は52.05%。国民の半分が投票しない選挙となった。結果として自民党が単独で改選定数の過半数を獲得するなど、与党の大勝で終わった。岸田首相は防衛力の強化と物価高騰対策など公約の実現に注力する意向を示している。

新型コロナウイルスとロシアによるウクライナ侵攻という二つの危機感で、国民が政治的安定を強く望んだ選挙結果とも受け取れるが、安倍元首相の国葬を閣議決定、防衛費増額、そして憲法改正へ意欲を見せる岸田政権で、私たち働く者の未来は明るいと言えるのだろうか。

歴史を見ると戦時中、鉄道は攻撃の対象となってきた。太平洋戦争中、日本の機関車、列車が米軍機の機銃掃射などの攻撃を受け、多くの犠牲者が出た。また、ロシアのウクライナ侵攻でも鉄道の駅が攻撃されたというニュースは大きく取り上げられ、記憶に新しい。

そして、ご存知だろうか。いま、「武力攻撃事態等及び存立危機事態における我が国の平和と独立並びに国及び国民の安全の確保に関する法律(事態対処法)」という法律によって、日本が武力攻撃など有事の際にJR東日本は国や自衛隊に協力するとなっているのだ。私たち鉄道員は、戦争が起きれば必然的に最前線に立たされる。防衛費を増額し、憲法を変え戦争をできる国になった時、命を差し出さなければならぬのは誰か。それは私たちだ。

今回の選挙によって改憲勢力が3分の2以上となり、いつでも改憲の発議ができるようになった。いつ国民投票が行われてもおかしくない。それどころか、憲法や法律が拡大解釈されたり、ねじまげられてしまえば国民投票の前に解釈改憲もありえる。

今この状況、あなたはどう感じますか？ (Y・N)

イーハトーブとは

「注文の多い料理店」や「雨ニモマケズ」などの著者として有名な宮沢賢治による造語です。故郷の岩手県をモチーフとし、彼の心の中にある理想郷を示す言葉です。

社会に目を向け、新しいものを積極的に取り入れ、農民の生活向上のために最後まで尽力した宮沢賢治の生き方に学びながら、私たちが外に目を向け、私たちが安心して働き暮らせる理想郷を実現していこうという想いを込め、イーハトーブというタイトルで情報発信を行っていきます。